

居宅介護支援 地域サポート虹

(1) 事業内容 : 居宅介護支援 予防居宅介護支援
事業所名称 : 居宅介護支援 地域サポート虹 (事業所番号 : 1473500633)

(2) 所在地 : 横浜市栄区桂町 74 番 17 号 サンパレス本郷台 107 号
TEL 045-894-0671 F A X 045-894-0603

(3) 職員

管理者(介護支援専門員兼務) 1名(常勤)
介護支援専門員 2名(非常勤) 常勤換算 1.6人
(-2名で常勤換算で-0.6人)

※管理者は訪問介護りんどうの管理者と兼任

(4) 契約者数

要介護者実績 : 40人 (前年度より-3人)
要支援者実績 : 20人 (前年度より+3人)
合計 : 60人

※介護支援専門員常勤1人あたり、平均37人担当

(5) 活動報告

在宅の介護保険利用者を主として、利用者一人一人のニーズを捉え、利用者の気持ちに寄り添ったケアプランの作成を行った。ご本人やご家族の立場に立ったきめ細かい対応が行えるよう法人内の訪問介護事業所、通所介護事業所、小規模多機能型居宅介護事業所との連携を密にし利用者にあったプランを検討した。それに加え、他のサービス事業所の利用も活発に行い法人外の44ヶ所のサービス事業所とも連携をとった。

要支援1、2の利用者に対しても心身ともに自立した生活が送れるよう、介護予防に努め、住み慣れた地域での在宅生活が継続できるよう支援を行った。月に一回は栄区内の地域包括支援センターに行き、情報交換等、積極的に連携をはかり、地域のインフォーマルサービスも活用していくようにした。

ケアマネジャーの資質向上のため、県、市、区の研修をはじめ、栄区内のケアネットやケアマネ勉強会にも積極的に参加し、ケアマネジャー間の情報交換を行った。

(6) 営業時間 : (月) ~ (金) 9:00 ~ 17:00
休日 : 土日祝日 12月29日30日31日 1月1日2日3日

※休日及び営業時間外は留守番電話の対応

※職員の休日、就業規則のとおりとする。

(7) 利用料金 :

居宅介護支援を提供した場合の利用料の額は厚生労働大臣がさだめる基準によるものとした。

※サービスの利用に対し、ご利用者様から利用料金をいただくことはありません。全額公費。

(8) 事業活動収支額 : 別紙「事業活動収支計算書」の通り。

※収入 = 介護報酬は要支援で約4,000円/人・要介護で約11,000円~14,000円/人

訪問介護 りんどう

(1) 事業内容：訪問介護 予防訪問介護

事業所名称：訪問介護 りんどう (事業所番号：1473500641)

※介護保険法による老人居宅介護事業 訪問介護、介護予防訪問介護

※指定年月日 (介護)：平成17年10月1日 指定の有効期間：平成29年9月30日

※指定年月日 (介護予防)：平成18年4月1日 指定の有効期間：平成30年3月31日

(2) 所在地：横浜市栄区桂町74-17 サンパレス本郷台107号

TEL:045-894-7783 FAX:045-894-0603

(3) 職員 22名 (前年度-1名) 常勤換算 (3.0名) (平成27年3月現在)

職種	職員数	常勤換算
管理者	1名	0.2名
サービス提供責任者 (兼務)	2名	1.5名
訪問介護員	19名	1.3名
合計	22名	3.0名

※ 介護福祉士：8名 ヘルパー2級：11名

※ 管理者は居宅介護支援地域サポート虹管理者を兼任

※ サービス提供責任者は訪問介護員を兼任

(4) 利用者数 26人 (男性 7名 女性 19名) (平成27年3月現在)

要支援 1	} 予防	7名
要支援 2		7名
要介護 1		5名
要介護 2		5名
要介護 3		1名
要介護 4		0名
要介護 5		1名
合計		26名

(5) 活動報告 (活動期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日)

サービス提供時間 延べ 2197.75 時間 (前年度比較 -624時間)

活動内容：本事業は、在宅高齢者を対象に、介護保険のご利用をいただきながら、家族との同居・独居に関わらず、住み慣れたご自宅での生活をより快適に、できるだけ自立して過ごしていただけるようお手伝いすることを目標に活動した。また、ご希望があれば、介護保険外のサービスにて、心を込めてお手伝いさせていただき、その方に寄り添うケアをめざして活動した。各種学習会を活用しながら事業従事者の質を高め、ご利用者の立場を思いやり、お一人お一人に適したサービスを提供するようにした。

ご利用者の状況変化 (入院)に伴い利用中止になったケースもあるが、心身共に元気になられご利用を終了されたり、以前利用されていた方から再度ご利用の希望をいただくケースもあり、変わらず心のこもったケアの提供を心がけて事業を実施している。

平成26年度は2名 (介護2→支援1、支援1)の利用者様が、ご家族の協力とご自身の努力により自立した生活を送られることになり、りんどうを「卒業」された。そのお手伝いできたことは誇りであり、今後も自立のための支援を継続していきたい。

(6) 営業時間： (月)～(金) 9:00～17:00

- ※祝日・年末年始は休業
- ※休日及び営業時間外は留守番電話にて対応
- ※職員の休日、就業規則のとおりとする。

(7) 利用料金：

	ヘルパー時給	介護報酬
身体介護（1時間迄）	¥1,600-	404 単位（1時間迄1回）
生活援助（1時間迄）	¥1,200-	236 単位（1時間迄1回）
予防（1時間迄）	¥1,200-	1,226 単位（月単位）
平均時給額	¥1,273.7-	※（総支払時間給÷延べサービス提供時間）

(8) 事業活動収支額 別紙、事業活動収支計算書の通り

(9) 研修報告

事業所は、従業員の質的向上を図るための研修会を次のとおり設け、実施した。
従業員研修（初任者継続研修）

年次研修報告

実施月日	研修内容
6月10日	感染症と食中毒の予防と防止（事例検討を含む）について
7月8日	お年寄りのための調理と口腔ケアについて
9月9日	訪問介護の心得（個人情報保護・法令順守を含む）について 訪問介護に関する各種記録の書き方について
10月14日	事故発生防止と緊急対応・リスク管理について
11月11日	身体介護の介護技術とボディメカニクスについて
2月10日	認知症について

外部研修

- 7月15日・8月21日 サービス提供責任者研修（神奈川県社会福祉協議会）
- 11月13日 ホームヘルパー消防研修（横浜市栄消防署）
- 11月14日 訪問介護事例検討学習会（栄区訪問介護連絡会）
- 1月13日 定期巡回・随時対応 訪問介護看護説明会（虹居宅・フルライフ）
- 2月13日 介護技術研修「持ち上げない介護」（栄区訪問介護連絡会）

(10) 実施案件および検討課題

ヒヤリハット報告書の活用：平成26年度は、通常と異なる時間帯で訪問予定のヘルパーが、訪問を忘れ、ご利用者様から連絡をいただくケースが3件発生した。
このことを重要に受け止め、ヘルパー全員に喚起するとともに、事務連絡の一環として日々の変更内容をこまめにヘルパーにメールにて連絡をするようにした。
怪我や物損の事故はなく、全ヘルパーが能力を活かし、心のこもったサービスができるよう心がけたい。

通所介護 すずらん

(1) 事業内容：通所介護 予防通所介護

事業所名称：通所介護 すずらん

※老人居宅介護事業：通所介護 予防通所介護

(2) 所在地・連絡先：横浜市栄区桂町279-4 TEL / FAX：045-894-7480

(3) 職員

管理者（常勤兼務）	（1名）
生活相談員（兼務）	（4名）
看護師	2名
介護職員	13名
ドライバー	4名
合計	19名

※正看護師：2名 ※介護福祉士：7名（ヘルパー2級と重複） ※ヘルパー2級：13名

※管理者は看護師と介護職員を兼務

※生活相談員は介護職員を兼務

(4) 利用者数（定員1日15人）

開催日数（営業日数）：243日 ※平成26年4月から27年3月まで

要介護	2365名	9.7人/1日
要支援	386名	1.5人/1日
	2751名	11.3人/1日
合計	（-141人）	（-0.8人）

※平成25年度に比べ開催日数3日増・要介護80人減・要支援61人減

(5) 活動報告

本事業所は、介護保険を利用される方々がいつまでも安心して在宅生活を送れるように、サービスを提供した。ご利用者は、前年度と比べると、複数回利用の方が入院や自宅療養などの長期お休みもあり、全体的に減っている。平成26年度は、リスク管理に重点を置き、研修、ヒヤリハット報告、事故報告を確実にを行い、月1回のミーティングの場でも、確認しあってきた。その結果、大きなトラブルもなく、サービスを提供をおこなう事のできた一年になった。サービスの方では、プログラムを週単位でより工夫し、手芸、麻雀、歌、書道、絵手紙、詩吟など、必要に応じて散歩などの外出プログラムを組み込み、一日楽しんでいただけるように努めた。食事に関しては、旬の食材を生かした丁寧な調理で、食べやすく工夫した昼食を提供した。身体面では、看護師による機能訓練を実施し、運動機能低下を防ぐプログラムも盛り込んだ。月2回定期的に理学療法士の指導も継続している。新たに個別機能訓練も実施した。介護職員も従業年数5年以上が大半を占め、介護福祉士取得や外部の研修参加も積極的にを行い、介護職員の意識を高め、個々に対応したきめ細かいケアを心がけている。新規契約を増やすため、各居宅事業所に出向き、実績報告や空き状況のお知らせも兼ねた営業活動も行っている。パンフレットや空き状況のお知らせには、昼食やご利用者様の作品の写真を掲載し作成した。平成26年度より8/13～8/15も通常通りの営業を行った。

(6) 営業時間：（月）～（金） 8：30～16：30

※サービス提供時間（ディサービス）（月）～（金） 10：00～15：30

(7) 利用料金：厚生労働大臣がさだめる指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準に基づきます。

(8) 事業活動収支額 別紙、事業活動収支計算書の通り。

グループホーム さくらそう

- (1) 事業内容： 認知症対応型共同生活介護 予防認知症対応型共同生活介護
事業所名称：グループホームさくらそう (事業所番号：1493100067)
- (2) 所在地：横浜市港南区港南台 1-10-8
TEL:045-830-5277 FAX:045-830-5277

- (3) 職員 13名 (男性2名、女性11名)

管理者 (常勤 週 40 時間勤務)	(1名)
計画作成担当者 (パート職員)	(2名)
看護師 (週 2 時間パート職員)	1名
介護職員 (常勤 週 40 時間勤務)	3名
介護職員 (週 32 時間勤務)	2名
介護職員 (パート職員)	7名
	合計 13名
	※常勤換算 6名

- ※ 介護支援専門員：3名、介護福祉士：4名、ヘルパー1級：1名、ヘルパー2級：7名、看護師：1名 (重複あり)
- ※ 管理者は 介護職員 (週 40 時間勤務) を兼務。
- ※ 計画作成担当者は介護職員 (週 32 時間勤務) 1名と介護職員 (パート職員) 1名と兼務。

- (4) 入居者の定員 6名、 現在6名入所中 (男性1名、女性5名)

要介護5	2名
要介護4	1名
要介護3	2名
要介護2	1名
要介護1	0名
合計	6名

- ※ 平均年齢：85.7歳 (80歳、83歳、84歳、85歳、87歳、95歳)

- (5) 運営方針

本事業は、認知症によって自立した生活が困難になった利用者に対して、家庭的な環境の下で、食事、入浴、排泄等の日常生活の介護及び日常生活の中での心身等の機能訓練及び作業療法を行うことにより、安心と尊厳のある生活を、利用者がその有する能力に応じ可能な限り自立して営むことが出来るよう支援することを目的とする。閉鎖的ではなく開放的に環境、家庭的な雰囲気、季節感を大事にし・寄り添い中心した介護、介助を行い、ターミナルまでできる限りの対応を行う。

※外部の人間の出入りを積極的に行う。家族を中心に、ボランティア、研修生の受け入れを積極的に行い、開放的な環境をつくり、スタッフは質の向上を意識する。

※職員の多くが地域の主婦で構成し、地域性、家庭の雰囲気を、メリットと意識し運営。

※主治医、看護師、家族と常に連携相談を行い、できる限りターミナルを意識し運営。

- (6) 営業時間 24時間 365日 年中無休
※職員の休日、就業規則のとおりとする。

- (7) 利用料金 (収入内訳) ※厚生大臣が定める基準によるものとする。

①介護保険の一割負担分 (1ヶ月30日として計算すると)

要介護1：25,455円 要介護2：26,656円 要介護3：27,447円

要介護4：28,016円 要介護5：28,585円

- 医療連携体制加算：1,234円
- 認知症対応サービス提供加算 190円/月
- 認知症対応型認知症専門ケア加算 95円/月
- 認知症対応処遇改善加算Ⅰ 約1,174円/月
- 入居30日間は初期加算：949円

②家賃等（1ヶ月）

家賃：70,000円～83,000円 食材費：36,000円 光熱費：17,000円 共益費：15,000円

※その他、外出などのヘルパー付き添い、オムツ等は都度実費がかかります。

※入居時：256,000円～（敷金としてお預かりします。）

※往診（病院と入居者様で契約）：希望で定期往診（月2回：第2と第4土曜日）約6,000円

(8) 事業活動収支額 別紙、事業活動収支計算書の通り。

(9) イベント実施

4月	花見(北公園)	10月	運動会(町内会)
5月	子供の日(自治会イベント:北公園)	11月	
6月	七夕かざり(さくらそう内)	12月	クリスマス会
7月	夏祭り(自治会イベント:北公園)	1月	正月
8月		2月	豆まき
9月	敬老の日(自治会イベント)	3月	ひな祭り

(10) 研修実施

事業所は、従業員の質的向上を図るための研修会を次のとおり設け、業務体制を整備する。

- ① 採用時研修 採用後1ヶ月以内
- ② 横浜市認知症介護実践者研修生の受け入れ対応
- ③ 継続研修およびケース会議 毎月1回

研修年次計画

研 修 内 容			
4月	介護技術(移乗と腰痛)	10月	認知症と薬についての概要
5月	感染症(白癬菌、ノロ)	11月	ノロウイルスの感染予防
6月	緊急時の対応(気道確保の姿勢)	12月	休
7月	プライバシー保護、倫理および法定遵守(尊厳)	1月	身体拘束
8月	ターミナルケア(尊厳)利用者毎の方向性を確認	2月	杖歩行・階段昇降の動作介助の仕方
9月	レビー小体認知症とは	3月	摂食障害研修

※ 横浜市認知症介護実践者研修研修生受入

(11) 外部監査等対応

平成26年9月 外部評価・情報公表制度の同時調査

運営推進会議を年6回を目標に実施、地域ケアプラザ、町内会、家族を集め、活動報告及び活動の改善について会議をおこなう。

(12) 実施案件および検討課題

現在(H27年3月)、ターミナル介護中が2名、空き待ち(入居希望者)は、現在2名登録あり、法人他事業所と連携し空室の期間が短期間になるように努める。

小規模多機能型居宅介護 かりん

- (1) 事業内容： 小規模多機能型居宅介護事業 予防小規模多機能型居宅介護事業
 事業所名称：小規模多機能型居宅介護 かりん 事業所番号：1493500126
 ※地域密着型サービス 小規模多機能型居宅介護事業

- (2) 所在地・連絡先 横浜市栄区小菅ヶ谷3-62-2 TEL・FAX045-895-6006

- (3) 職員 24名（男性9名、女性15名）

管理者（常勤）	1名
計画作成担当者	2名
看護師（パート職員）	1名
介護職員（常勤）	2名
（パート職員）	18名
合計	24名

※介護支援専門員：2名、介護福祉士：5名、看護師：1名、ヘルパー2級：11名 無資格：5名

- (4) 利用登録者 15名（男性3名、女性12名） 平成27年3月31日現在

要介護5	2名
要介護4	0名
要介護3	4名
要介護2	4名
要介護1	2名
要支援2	2名
要支援1	1名
合計	15名

※平均年齢：87.1歳（最低71歳 最高96歳）

- ① 活動期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日
 ② 延べ人数 通所：3851人、ショートステイ：1721人、訪問：353人

- (5) 活動報告

介護保険利用の方を対象に、住み慣れた家、地域で安心して暮らしていけるよう「通いサービス」を基本に、必要に応じて「泊まり」や「訪問」を組み合わせて適切に介護や日常生活のお手伝いをする事業として運営している。「第2の家」のように家庭的で安心して過ごされ、季節感を大切に、認知症の方も地域と交流していただき、落ち着いて過せるように寄り添いを中心としたケアを実施している。また、家族と常に連携・相談を行い、在宅支援の継続を行っている。

- (6) 営業日・時間 : 365日営業 年中無休 ※登録者（利用者）24時間電話対応
 （通い/訪問：9時～16時30分、泊り16時30分～9時）
 ※職員の休日、就業規則のとおりとする。

- (7) 利用料金（収入内訳）

- ① 介護保険の割負担分 月額（1ヶ月30日として計算）※厚生大臣が定める基準による
 要支援1：4,715円 要支援2：8,435円 要介護1：12,059円 要介護2：17,223円
 要介護3：24,567円 要介護4：27,005円 要介護5：29,667円
- 認知症加算（該当者のみ） 加算Ⅰ：844円 加算Ⅱ：528円
 - 契約後30日間は初期加算がかかる：一日あたり32円
 - 認知症加算は、主治医の意見書等に記載されたランクにより決定する
 ※契約期間が1ヶ月に満たない場合は、日割り計算を行う
- ★平成27年4月から介護保険法の改正に伴い、料金体系が変更される。

② 保険外の費用

食費：朝食 350 円 昼食 650 円 夕食 650 円 宿泊費：一泊 3,000 円
 レクリエーション材料費・参加費：実費（事前に本人家族の承諾を得てから徴収）
 ※ その他、日常的必要と思われる費用（利用者希望で生じた場合）

(8) 事業活動収支額 別紙、事業活動収支計算書の通り。

(9) 年間行事実施内容

4月	花見(4/1~4/4)	10月	作品展の作品作り
5月	端午の節句	11月	焼き芋会 9/18
6月		12月	クリスマス会 12/4
7月	七夕	1月	
8月	夏祭り 8/1	2月	節分
9月	敬寿会 9/18	3月	ひな祭り

※誕生会は、各利用者の誕生日に一番近い利用日に実施

(10) 研修報告

事業所は、従業員の質的向上を図るための研修会を次のとおり設け、業務体制を整備する。

- ① 採用時研修 採用後1ヶ月以内
- ② ケース会議 毎月1回
- ③ 研修
- ④

実施月	研 修 実 施 内 容
4月	リスク管理
5月	身体拘束について
6月	個人情報保護
7月	嚥下障害、その対応
8月	高齢者虐待
9月	介護技術（移乗と腰痛）
10月	感染症（C型肝炎ウイルス、ノロ）
11月	緊急時の対応（防災訓練の報告）
12月	プライバシー保護、倫理及び法令遵守
1月	認知症について
2月	ターミナルケア（尊厳）
3月	年度のまとめ 来年度へ向けて

(11) 次年度への検討課題

地域住民や自治会役員への事業内容の周知を進めていく。
 運営推進会議にて、自治会、地域包括支援センター、（実績報告・空き状況の紹介）

小規模多機能型居宅介護 くるみ

- (1) 事業内容： 小規模多機能型居宅介護 予防小規模多機能型居宅介護
 事業所名称：小規模多機能型居宅介護 くるみ (事業者番号：1493500134)
 ※介護保険 地域密着型サービス事業として、横浜市より認可を受けている。
- (2) 所在地・連絡先： 〒247-0008 横浜市栄区本郷台 4-28-12 TEL・FAX:045-893-7517
- (3) 職員 19名(男性4名、女性15名)

	実人数
管理者(常勤 週40時間勤務)	1名(1名)
計画作成担当者(パート職員)	2名(1名)
看護師(パート職員)	2名(2名)
介護職員(パート職員)	14名(16名)
	計19名(20名)

※数字は平成26年度末実績。()内は前年25年度末の実績

※常勤換算：常勤は勤務時間週40時間＝1名で設定、週の平均勤務時間を40時間で割った値

※資格：介護支援専門員3名、介護福祉士6名、ヘルパー1級1名、ヘルパー2級7名、看護師2名、無資格者3名

★平成27年4月時点 介護福祉士1名追加

- (4) 利用者 契約定員：24名、日中 通いサービスの定員：12名、宿泊定員：4名

要介護5	1名(0名)
要介護4	1名(2名)
要介護3	4名(6名)
要介護2	4名(3名)
要介護1	4名(2名)
要支援2(予防)	1名(0名)
要支援1(予防)	1名(3名)
合計	16名(16名)

※ 数字は平成26年度末実績。()内は前年25年度末の実績

※ 利用対象者：要介護1～5・要支援1～2の認定を受けている方、横浜市に住み票がある方、自傷他害の恐れのない方、小人数による共同生活を営むことに支障がない方

★今年度中の退所者 4名

療養型病院へ入院：1名(90歳 要介護4 2週間後 老衰で死去)

施設入所：2名(86歳 要介護3 家庭の事情で在宅介護の継続が困難となった)

(90歳 要支援2 背中への圧迫骨折後、車椅子生活となり在宅生活を断念)

県外家族の元へ転居：1名

(96歳 要介護4。99歳夫と2人暮らししたが夫が体調を崩し、在宅生活を断念した)

- (5) 運営方針

利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民との交流や地域活動への参加を図りつつ、利用者の心身の状況、希望およびその置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス、及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより、妥当適切に行う。

事業者は、利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者がそれぞれの役割を持って家庭的な環境の下で日常生活を送ることができるよう配慮して行う。

※外部の人間の出入りを積極的に行った。地域ボランティアの受け入れを積極的に行い、開放的な環境をつくり、スタッフは質の向上を意識した。

※職員の多くが地域住民で構成され、地域性や家庭的な温かい雰囲気運営する事が出来た。

※地域団体(自治会、小学校など)との連携をはかり、自治会行事や小学校の運動会への参加や地域住民の来訪を積極的にすすめた。

※主治医、看護師、家族と常に連携・相談を行い、在宅生活をできる限り支援した。

- (6) 営業時間 365日営業 年中無休 ※登録者(利用者) 24時間電話対応
 通いサービス 原則9:00-17:00
 訪問サービス 原則9:00-17:00
 宿泊サービス 17:00-翌日9:00

サービス提供地域 横浜市栄区の全域、港南区の一部、戸塚区の一部

※ 原則として生活圏域(中学校区 施設から2~3km圏内)がサービス提供の対象であるが、それ以外の地域でも相談の上、受け入れを行っている。

- ・横浜市港南区の一部…日野9丁目、日野南1丁目~7丁目、港南台3~5丁目、
 港南台9丁目、上永谷町、
 日限山2~4丁目、丸山台4丁目、野庭町の一部
 (舞岡上郷線より西側(栄区側))
- ・横浜市戸塚区の一部…下倉田町、南舞岡1丁目~4丁目、舞岡町の一部
 (舞岡上郷線より西側(栄区側))

(7) 利用料金(収入内訳)

- ① 介護保険の割負担分 月額(1ヶ月30日として計算) ※厚生大臣が定める基準による
 要支援1:4,715円 要支援2:8,435円 要介護1:12,059円 要介護2:17,223円
 要介護3:24,567円 要介護4:27,005円 要介護5:29,667円
 認知症加算(該当者のみ) 加算Ⅰ:844円 加算Ⅱ:528円
 ※ 契約後30日間は初期加算がかかる:一日あたり32円
 ※ 認知症加算は、主治医の意見書等に記載されたランクにより決定する
 ※ 契約期間が1ヶ月に満たない場合は、日割り計算を行う
 ★平成27年4月から介護保険法の改正に伴い、料金体系が変更される。

- ⑤ 保険外の費用
 食費:朝食350円 昼食650円 夕食650円
 宿泊費:一泊 3,000円
 レクリエーション材料費・参加費:実費(事前に本人家族の承諾を得てから徴収)
 ※ その他、日常的必要と思われる費用(利用者希望で生じた場合)

(8) 事業活動収支額 別紙、事業活動収支計算書の通り。

(9) 年間行事実施内容

実施月	行 事 内 容	(詳細)
4月	お花見(舞岡公園、本郷台駅前等)	現地へ車で出かけて徒歩や車椅子で公園を散策、場所によっては車窓から鑑賞ドライブした
5月	端午の節句・ドライブ	花や鯉のぼりを見に車で出かけた 兜の折り紙を作り、皆で記念撮影
6月	室内レク	室内でのミニ運動会など 雨で出かけられない日も身体を動かした
7月	七夕	ご利用者にお飾り作りや飾り付けをして頂き、 節句にちなんだ食事やおやつを食べた
8月	室内レク	石鹸デコパージュ、広告紙やペットボトルキャップを再利用した手芸など
9月	敬老の日	敬老カードをスタッフが作成、全利用者へプレゼント。お祝い膳を食べた。
9~10月	作品展の作品づくり	共同作品(ちぎり絵など)1~2点を作成 全員が関わられるよう、支援した
10月	地域秋祭りへの参加・小学校運動会観戦	本郷台中央公園の自治会秋祭りや、小菅ヶ谷小学校の運動会を観戦に出かけた
11月	運動会 11/18	室内運動会を行う。競技に使う物を工作したり、準備段階からご利用者が楽しめるよう工夫した
11月	作品展(展示を見に外出)	栄区シニア連作品展を見に外出(栄公会堂) 自分達の作品を嬉しそうに鑑賞
11~12月	紅葉狩り(舞岡公園等)	お花見と同様の手順で外出 場所によっては車窓から鑑賞ドライブした

12月	クリスマス演奏会 12/17	地域ボランティアによるリコーダー演奏会。 あたたかい音色に喜んでた。
12月	クリスマス会 12/19	クリスマスリースを手作りした後、 ビンゴゲームなどを楽しんだ。
1月	年始の抱負を書く・初詣（白山神社）	今年の抱負を書いて頂き、装丁して展示 バリアフリーの神社へ、数名ずつ初詣に外出
2月	節分 2/3	スタッフが面を付けて鬼に扮し、豆まきを楽しんだ
3月	ひな祭り 3/3	ホットプレートでの桜餅作りを、ご利用者とスタッフで行い、おやつに頂いた

★誕生会は、生まれ月ごとの利用者が揃う日に実施。

平成26年度内容：写真と寄せ書きを貼った色紙をプレゼント。ケーキを作り、全員でお祝い

(10) 研修報告

事業所は、従業者の質的向上を図るための研修会を次のとおり設け、業務体制を整備する。

- ④ 採用時研修 採用後1ヶ月間
- ⑤ 継続研修およびケース会議 毎月1回

下記の内容を実施した

実施月	研修実施内容
4月	業務のマニュアル化について 話し合い
5月	褥創の処置と予防
6月	薬の作用と副作用
7月	熱中症予防
8月	排泄介助
9月	避難訓練の振り返り（話し合い）
10月	感染症について（インフルエンザ、ノロウイルス）
11月	栄養摂取について
12月	ヒヤリハットと事故報告
1月	ノロウイルスの知識と対応 再確認
2月	誤薬の発生防止・介護保険報酬改正の内容説明 次年度の年間行事について話し合い
3月	臨床心理士の講演の紹介「虐待者の心理について」

(11) 外部監査等対応

- 平成26年10月 情報公表制度の書類提出（訪問調査は無く、書類提出のみ）
- 平成26年12月 外部評価 ㈱R-CORPORATION より調査員2名来訪
- 平成27年 3月 報告書作成 横浜市へ報告

(12) 運営推進会議 5回実施

利用者家族、地域ケアプラザ職員、区職員、自治会役員、民生児童委員、ボランティア
実施内容：活動報告及び活動の改善について意見を頂くほか、出席者との情報交換など

(13) 次年度への検討課題

- (ア) 小規模多機能型居宅介護事業へのスプリンクラーや火災報知器設置について
平成30年度までに対応が必要。法人本部と確認しながら適宜進めていく。
- (イ) 地域住民や自治会役員への事業内容の周知を進めていく。
地域包括支援センター、区役所等への定期訪問を行う（実績報告・空き状況の紹介）
運営推進会議へ、自治会長以外の役員の出席を依頼していく

乳幼児一時預かり事業（通常型）

- ① 活動内容

横浜市の乳幼児の一時預かり事業に基づき、認可外保育施設指導監督基準をみたしており、補助金を受けながら実施している。
 対象とする児童は、横浜市に在住していること、生後57日以上で小学校就学前であること。
 1児童ひと月上限15日までまたは、120時間までの利用となっています。
 利用は、働くママのみに限らず、祖父母の場合もあり、預ける目的も、家事、通院などリフレッシュのためが増えてきている。
 預かる時間、登室退室の時間もまちまちで状況に応じ、なるべくお散歩に行くのを日課にし、外遊びを楽しんでいる。

定員 15人
 別紙年間活動記録の通り
- ② 活動時間

平成26年4月1日～平成27年3月31日
 月～金曜日 9:00～17:00
- ③ 活動場所

栄区桂町 275-22 美樹ビル 103号
- ④ 従事者

15名
- ⑤ 利用者

単発 2632人 定期 1169人
 登録者 313人 見学者 256人 当日保育 30人
- ⑥ 事業収支額

別紙事業活動収支計算書の通り

⑦ 収支内訳

【収入】

項目	金額	内訳（積算）
横浜市一時預かり事業補助金	10,568,000	
利用料金収入	5,286,450	@300×17621.5時間
震災対策物品購入補助金	30,000	
保険金	8,000	
合計	15,892,450	

【支出】

項目	金額	内訳（積算）
賃借料	1,918,800	月額155,000×12ヵ月 消費税増税分精算8,400
人件費	11,613,445	
光熱水費	456,528	水道、電気
消耗品費	695,995	洗剤類、文房具、日用品、教材等
備品購入費	728,098	パソコン・バギー・玩具等
通信費	177,142	電話代、インターネット代等

保険料	153,784	損害保険、健康診断等
設備設置・修繕費	118,529	畳替え等
震災対策物品購入補助金	30,129	非常食・おむつ・ミルク等
合計	15,892,450	

⑧年間活動記録

	目標	配慮	歌	手遊び・製作
4月	環境に慣れ楽しく遊ぶ	平均年齢が下がり、新規利用者も多かったので子どもが不安にならぬよう手厚く対応できるように配慮した。	ちゅうりっぷ	ひげじいさん スポンジスタンプで色遊び
5月	気候が良くなってくるので外気浴をしたり散歩に行く	登室時の健康観察をしっかりとて天気の良い日はお散歩へ行った。	こいのぼり	らららぞうきん こいのぼり製作
6月	室内遊びを楽しむ。 食中毒予防のため手洗いの徹底	梅雨時期の健康管理に気をつけた。お弁当が傷まないように保管に気を配った。	カエルの歌	ぼつつんぼつぼつ スポンジスタンプあじさい
7月	暑さに負けず元気に過ごす	水分補給をまめにした。汗をかいたら拭いたり着替えさせるなど対応した。	たなばた	グーチョコキパー 七夕製作
8月	暑さに負けず元気に過ごす	水分補給をまめにした。汗をかいたら拭いたり着替えさせるなど対応した。	海	かがとんできた ちぎり絵花火製作
9月	体調を整え元気に過ごす	気温の変化を考慮し衣服の脱着の調整をした。	つき	大きな栗の木の 下で マラカス製作
10月	散歩や外遊びを楽しむ	気温の変化を考慮し衣服の脱着の調整をした。	バスごっこ	たこやきくん ハロウィンバック製作
11月	気温の変化がある時期なので一人一人の体調に気を配る。薄着で過ごす。	風邪予防のため手洗いうがいを徹底し、登室時の健康観察をしっかりとりました。	どんぐりころころ	やきいもグーチャーパー アンパンマンお面
12月	風邪が流行る時期なので一人一人体調に気を配る。薄着で過ごす	感染予防のため、鼻水を拭いた後は手を消毒した。室内の温度・湿度に気を配った。	あわてんぼうの サンタクロース	もみの木 シールぺたぺた サンタ製作
1月	風邪が流行る時期なので一人一人体調に気を配る	感染予防のため、鼻水を拭いた後は手を消毒した。室内の温度・湿度に気を配った。	お正月	げんこつ山のたぬきさん オニのお面
2月	寒さに負けず元気に過ごす	胃腸炎が流行っていたので手洗いを徹底、玩具の消毒の徹底。	豆まき	コンコンコンコンくしゅん おひなさま製作
3月	気候の良い時は外遊びを楽しむ	湿度・温度に留意し子どもの体調に気を配った。	ひなまつり	ちいさなはたけ 記念手形

認可外保育事業

- ① 活動内容 横浜市一時預かり補助事業、それに該当しない対象以外の保育を行っている。
横浜市外在住者、時間外、一時預かりの上限を超えた場合の保育。
定員 24 人
- ② 活動時間 平成 26 年度 4 月 1 日～平成 27 年度 3 月 31 日
月～金曜日 7：30～18：00
- ③ 活動場所 栄区桂町 275-22 美樹ビル 103
- ④ 従事者 15 名
- ⑤ 利用者 一時預かり利用者 3801 人
市外利用者 49 人
- ⑥ 事業収支額 別紙事業活動収支計算書の通り

⑦ 収支内訳

【収入】

項目	金額	内訳（積算）
利用料金収入	288,700	市外 111,800 時間外 176,900
合計	288,700	

【支出】

項目	金額	内訳（積算）
人件費	100,000	@1,000×50h×2名
利益	188,700	
計	288,700	

OYAKO CLUB チューリップ おやこのひろば

1 事業概要

- ① 活動場所 横浜市栄区上郷町 106-1 第2 ミサキビル 101 号
- ② 開催日時 月・火・水・木・金 10:00~15:00
- ③ 従事者 11 人
- ④ 利用料 1 組 100 円
- ⑥ 利用実績 活動日数 229 日
1 日あたりの利用者数 17.2 人 (7.3 組) 延べ人数 3931 人 (1675 人)

2 ひろば運営実績報告書

1 子育て親子の交流、集いの場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・常設のひろばで気軽に立ち寄れる場所と分かるように、窓の文字を大きくした。利用者から、わかりやすくなったとの声が聞かれた。 ・10時~15時までは再利用が自由なので、午前中に帰られる利用者には個別に声掛けをした。ひろばに近い方は、午後にも再利用する事があった。 ・子どもの生活リズムに合わせて利用する方が増えた。(午睡をする時間を考えて帰宅等) ・六反町公園や近くに遊歩道があるので、イベントだけでなく声掛けをして戸外遊びに誘った。 ・凧揚げイベントでは、終了後も戸外遊びが楽しく、公園に残って遊んだりお弁当を食べてからひろばに戻ってきた方もいた。 ・新規利用者や孤立してしまう利用者には、積極的に対応してきたので他の利用者も声をかけて交流する姿も見られた。 ・通信を見たりお友達同士誘い合っのイベント等の参加が増えてきた。 ・祖父が孫を連れての利用があり、他の利用者との交流が見られた。
2 子育てに関する相談、援助の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者との話の場を大切に、寄り添い話しやすい雰囲気作りに努めたことにより、信頼関係が深まり家庭の状況の話が聞かれた。 ・お迎え、お見送りは必ずスタッフが付き添い安全面にも気を配った。また、ぐずる子どもが楽しく帰れるようにスタッフが働きかけることで、親子ともに笑顔で帰っている。 ・親子で触れ合う事の大切さを手遊びやふれあい遊びを通して伝えている。 ・気になる親子に対しては、ミーティングでより良い対応を考え話し合い共通認識を持って対応することで、親子の成長を感じた。 ・常に利用されている利用者より、「下の子が1か月の時から来ているがここがなければ誰とも会話できず虐待する気持ちもよく分かる」という声が聞かれた。
3 地域の子育て関連情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・市や区からの情報の掲示やケアプラザ、他の子育て広場等のチラシを提供できるよう専用の棚を設置した。利用者から見やすくなったと好評。 ・町内会の回覧板で伝えられた地域の情報を提供した。 ・近隣小学校や幼稚園などから得られる情報(感染症・イベント等)を利用者の年齢地域に合わせて提供した。 ・幼稚園や保育園などの一時預かり等、母親のニーズに合った情報を収集し提供した。 ・ひろばの紹介・月の予定・イベントのお知らせや報告等ひろば通信を2ヶ月に1度発行しホームページにも掲載した。 ・引越して来た方には、地域のサロン等の情報を伝えた。

4 子育て及び子育て支援に関する講習の実施
<ul style="list-style-type: none"> ・中野地域ケアプラザ・・・リトミック（5月）、親子で遊ぼう（8月）、 プレイアート（10月）、親子ヨガ（2月） ・桂台地域ケアプラザ・・・野菜スタンプのランチョンマット作り（9月） ・上郷地区センター・・・親子でダンス（11月） ・JA 横浜・・・クリスマス会（12月） ・ひろば・・・春のお散歩（4月）、七夕飾り作り（6月）、公園遊び（7月）、 凧揚げ（1月）、タッチケア（3月） ・その他・・・新聞紙遊び、親子遊び、ふれあい遊び、小麦粉粘土、わらべ歌など、 月1回行う。幼稚園ママによる情報会（9月）、防災のはなし（11月）、 桂台保育園の先生のおはなし（2月）
5 地域の子育て関係者、関係機関・団体や行政機関等との連携について、
<ul style="list-style-type: none"> ・拠点や駅ひろば、一時保育等の事業者間とは、ミーティング等で連絡を密に取り情報を共有した。 ・つどいの広場を見学に行き、情報を交換し、良い点を取り入れた。 ・中野地域ケアプラザと共催でイベントを4回、上郷地区センターと共催でイベントを 1回、桂台地域ケアプラザと共催でイベントを1回、JA 横浜と共催でイベントを1回行う。 ひろばの無料券を配布し、イベントだけの利用ではなくひろば利用にも繋がった。 ・育児に疲れ気味な利用者には、一時保育を勧めた。 一時保育スタッフに連絡し、情報を共有した。 ・桂台地域ケアプラザの子育て支援ネットに参加し、地域の子育て関係者と情報を交換した。 ・近隣のサロンとの交流を深めたい。
6 安全面での工夫や配慮について、
<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の清掃時に玩具の除菌清掃をしながら危険がないか確認した。 ・誤飲の危険がある小さい玩具は事務スペースに置き、安全に使える年齢の子どもには 母親に気を付けてもらいながら遊ぶようにした。 ・地震や火災に備え避難訓練を定期的（曜日ごと）に実施し、しだいに子どもたちも ダンゴ虫ポーズ、防災頭巾に慣れてきた。 ・家具の角やゲート等、保護材の安全確認をした。 ・棚の荷物の落下防止のためにすべり止めシートを敷いた。 ・感染予防のために、来所時の手洗いを呼びかけたことにより、手洗いが習慣化された。 ・年齢が高い子の遊びが激しくなりそうな時は、スタッフが遊びを工夫した。 ・1歳児は特に転んだりぶつかりやすいので、母親達に気をつけるように声をかけたり スタッフも環境設定等十分に配慮した。
7 事業全体の自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者が続けて利用したくなるよう、利用者との関わりをスタッフ全体で意識して対応する。 ・スタッフが他の子育てひろば等に出向き、地域とのつながりを密にして活動をしていく。 ・学生ボランティアや地域の方などの協力を得て普段とは違った環境を体験する機会を増やしたい。 ・ミーティング等話し合いを密にし、利用者に対してスタッフが同じ対応をしたことにより 子どもに対する母親の働きかけが変わった。 ・壁面製作は、子ども達が一緒に作れる物を多くし、親子で作る楽しさと見る楽しさを 感じてもらっている。
8 その他、来年度取り組みたい内容、今後の展望など
<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの日を月に1度設定する。 ・民生委員の方にひろばに来ていただくよう声かけをして、地域の方との繋がりを持つ。 ・なるべく多くの研修会や講習会を受講し、スタッフのスキルアップをはかりたい。 ・地域の老人会との繋がりを持ち、伝承遊び等にふれあいながら、異世代交流を広めていく。 ・来年度も学生ボランティアの参加を募り、ひろばとはどういう場所か学んでもらい、 利用者にもスタッフ以外の方との交流を経験し、幼稚園・保育園入園前に社会的な 経験の一つにしてもらう。

OYAKO CLUB チューリップ おやこの駅ひろば

① 事業概要

実施施設名	OYAKO CLUB チューリップ おやこの駅ひろば
実施場所（住所）	横浜市栄区笠間1-1-1 JR大船駅笠間口通路内
実施場所の面積	54㎡
開催日時	月～金曜日 9:30～15:30（6時間）
利用料金	1組1回（大人1人につき）100円
従事者	非常勤7名
事業内容	子育て支援事業（横浜市親と子のつどいの広場事業補助金を受けている）

② 利用実績

活動日数：229日	活動期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日
ひろば利用者数：6,903人	利用組数：3,236組
平均利用者数/日：30人	平均利用組数/日：14組

③ 活動内容

1 子育て親子の交流、集いの場の提供

- ・乳幼児が集いやすい交流の場を作った。月齢に合ったおもちゃを揃えたり、手遊びや絵本の読み聞かせを行った。
- ・利用者と季節ごとの遊びや工作物を提供し楽しんだ。
- ・平日（月～金）9:30～15:30開催。
- ・笠間地域ケアプラザと連携をとり子どもたちが広い部屋で活発に遊べる機会を提供し、季節にちなんだ行事（音楽遊び・工作・リズム遊び等）を開催した。（出張ひろばの実施、年間11回）
- ・保護者同士のコミュニケーションが取りやすいよう配慮した。（祖父母にも利用しやすい場）
- ・保護者同士がグループ活動をしやすいよう積極的に地域の子育て情報等を提供した。
- ・新規の方も利用しやすい対応や居場所作りを心がけた。

2 子育てに関する相談、援助の実施

- ・利用者の話を傾聴し、気持ちを大切に寄り添いを行った。
- ・日々の記録やケースカンファレンスを通じて、スタッフ間で問題を共有し、共通理解のもと支援を行った。
- ・子育て支援者が常駐し、いつでも相談を受けた。
- ・特別な配慮が必要なケースについては、専門機関につなぎ連携しながら継続的見守りを行った。
- ・子育てが孤立しないよう必要な情報等を提供した。

3 地域の子育て関連情報の提供

- ・情報コーナーを設け、区内外からの情報を随時提供した。
- ・市のホームページを活用して、インターネットによるインフルエンザ警報発令や感染症など随時情報提供した。
- ・タイムリーな情報については、利用者の迎え入れ時やランチタイム前に周知した。
- ・育児に関わる人向けの書籍を充実させ、知りたい情報や知っておくと便利な情報を提供した。
- ・パソコンを設置し、インターネットを活用して様々な情報を得る機会をつくった。

4 子育て及び子育て支援に関する講習の実施

- ・毎日、ひろば時間内に、手遊び、絵本読み、ふれあい遊びなどをした。
- ・月に1回開催している出張ひろばでは、季節ごとの工作などを実施し、家での親子遊びを支援した。
- ・ボランティアやスタッフの受け入れ時の研修（2回）を実施。

- ・スタッフに必要な知識やスキルを、外部研修により習得した。
 - ・ひろば基礎研修（2回）
 - ・ひろば応用研修（2回）
 - ・おやこの力を引き出す関わり講座
 - ・幼児安全講習（2回）
 - ・計画意見交換会
 - ・感染症の対応について
 - ・個人情報守秘義務について
 - ・子どもの遊び講習会
- 5 地域の子育て関係者、関係機関・団体や行政機関との連携について
- ・地域で子育て支援に関わって下さる人や、グループが登録している栄区のボランティア団体から、イベント等での講師を依頼した。
 - ・にこりんく、おやこのひろば、一時預かり等の事業所間での連絡を密にとり情報を共有した。
 - ・地域ケアプラザと連携して、出張ひろばを毎月開催した。今後も、出張ひろばを実施し、子育て支援の機会を増やしていきたい。
 - ・個別ケースは、個人のプライバシーを十分配慮し、ひろば同士や行政機関と密に連携を図った。
- 6 安全面での工夫や配慮について
- ・毎朝、清掃の際に危険個所がないか「子ども目線」でチェックした。
 - ・事故の起きやすい場面を想定し、できる限り危険を取り除き、見守りや声かけを徹底する。
 - ・滑り台や椅子の使用時には、保護者に見守ってもらったり、また、スタッフが近くで見守った。
 - ・室内の換気に留意し、温度・湿度・空気循環・空気清掃など、計測と体感をもって管理した。
 - ・玩具や備品が感染源とならないよう、一日数回の清拭を行なった。
 - ・第4月曜日を休館日とし、スタッフミーティングで問題箇所の検討や修繕を行った。
 - ・年に6回の防災、防犯訓練を実施し、スタッフの動きを確認した。利用者参加型の訓練も併せて行なった。
 - ・破損したり古くなったおもちゃは安全を考えて点検し、修理、処分を行った。
- 7 事業全体の自己評価
- ・いつでも居心地の良い安らげる場所を心掛けたので、リピーターが増えた。
 - ・利用者が口コミで友達を誘って来所し、多くの人利用につながった。
 - ・毎回、出張ひろばの内容を充実させることにより利用者が増加した。遊びの内容が増えたと喜ばれた。
- 8 その他、来年度取り組みたい内容、今後の展望など
- ・利用者の意見、提案を傾聴し、アンケートの実施など利用者参加型のひろば作りを目指したい。
 - ・地域の学生ボランティアや学生の職場体験を受け入れ、子育てへの理解を高めたい。
 - ・第4月曜日を休館日とし、スタッフミーティングやスタッフ研修を実施しスキルアップに努める。
 - ・地域ケアプラザとの共催事業で、「出張ひろば」を開催する。（毎月1回実施）
 - ・「おやこの駅ひろば通信」を季刊発行し、子育ての一助となる情報を発信する。利用者の声を紙面に反映させるなど、共に作成していくことを目指したい。
 - ・食事に関して悩んでるママが多いので、食育についての講座やイベント等を開催したい。
 - ・利用者が多すぎる情報に戸惑わないよう、一緒に寄り添い考えて支援していきたい。

栄区地域子育て支援拠点にこりんく

1 施設概要

施設名称	栄区地域子育て支援拠点 にこりんく	
実施場所	横浜市栄区桂町711番地 さかえ次世代交流ステーション	
開設年月日	平成23年4月	
開催	開催曜日	火、水、木、金、土
	開催時間	10:00~16:00 (6時間)
利用料徴収	無	
スタッフ数	常勤(3名)、非常勤(8名)	

2 利用実績

活動日数	249日(平成26年4月1日~平成26年3月31日)
利用者数	24,051人(利用組数 11,555組)
平均利用者数	96.6人/日(平均利用組数 46.4組/日)

※月別の詳細については以下を参照

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1日平均利用者数	率(%)
開所日数	21日	21日	20日	23日	22日	20日	23日	21日	19日	20日	19日	20日	249日		
0歳児	409	421	432	494	345	431	349	388	251	266	369	403	4558	18.3	36.5
1歳児	359	339	342	370	275	327	347	379	272	315	329	328	3982	16	31.9
2歳児	165	168	192	204	200	255	216	216	121	121	128	124	2110	8.5	16.9
3歳児	98	91	68	118	110	100	88	79	78	120	134	110	1194	4.8	9.6
4歳児	22	15	24	75	68	33	33	42	47	39	43	34	475	1.9	3.8
5歳児	7	2	3	21	40	9	5	9	12	10	13	15	146	0.6	1.2
6歳児	1	1	2	2	4	4	1	2	4	2	1	7	31	0.1	0.2
就学児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子ども小計	1061	1037	1063	1284	1042	1159	1039	1115	785	873	1017	1021	12496	50.2	100
父	32	31	32	41	39	30	27	23	22	37	52	35	401	1.6	3.5
母	944	936	958	1132	852	1039	937	1001	678	738	889	874	10978	44.1	95
祖父	2	2	3	1	3	5	1	4	2	2	2	5	32	0.1	0.3
祖母	11	12	16	13	6	7	10	9	9	7	9	2	111	0.4	1
本人以外の子供	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0
プレパパ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プレママ	1	0	0	1	0	2	0	0	2	0	1	4	11	0	0.1
その他	2	2	0	1	0	2	1	0	4	1	0	5	18	0.1	0.2
親等小計	992	983	1010	1190	902	1085	976	1037	717	785	953	925	11555	46.4	100
合計	2053	2020	2073	2474	1944	2244	2015	2152	1502	1658	1970	1946	24051	96.6	100

3 運用実績(別紙参照) ①平成26年度重点目標評価結果 ②次年度重点目標 平成26年度事業報告書

栄区地域子育て支援拠点にこりんく 平成26年度重点目標評価結果・次年度重点目標

事業実施期間	平成26年4月1日～平成27年3月31日(5年度目／5か年度)
事業の実施者	社会福祉法人地域サポート虹
	栄区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを産み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 栄区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に関わった運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業)
事業の評価 実施方法及び 評価結果の 公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

1 重点目標の評価

平成26年度 重点目標①	利用者同士が主体的に企画へも参加し、地域においても一層交流が深まり活動の活性化につながる支援を行う。
取組内容	①利用者によるプログラムの企画・実施(七夕まつり、クリスマスコンサート、抱っこママ隊コーラス等) ②利用者の特技を活かした活動(パパママボランティア、豆まき、おひな祭り会等) ③ファミリー参加型プログラムの企画・実施(パパママ一緒にふれあい遊び、乳幼児救急救命法等) ④中学生・高校生の職業体験受け入れ・大学生・看護専門学生の実習受け入れ。 ⑤世代間・異年齢児童との交流(おもちゃ病院、にんじんクラブの読み聞かせ、ステーション祭り等) ⑥子育てサークル支援(サークルリーダー研修の実施等)※栄区・区社協・拠点3者協働
取組の成果	・拠点の取り組みにより利用者同士が繋がり、企画へも主体的に参加した。 ・利用者の特技を活かした活動を支援することで、交流が深まった。
取組の課題	・利用者同士の交流が深まり活動も活性化したが、利用者が地域で活動するまでには至らなかった。 地域での活動に、つなげるための支援を引き続き行うことが求められる。
平成26年度 重点目標②	地域の子育て支援関係者及び関係機関、団体等とつながり、具体的な事業を通して活動機関・団体・利用者間のネットワークづくりに努める。
取組内容	①栄区・地域ケアプラザとの連携強化・「得!!わくわく子育て講座」実施 区内6カ所 ※栄区・地域ケアプラザ・拠点3者協働 ②見守りのある地域づくりの啓発・「さかえっ子の笑顔ひろげ隊」開催(子育て応援講座・地域で育てる子どもたち実施 年間2回) ※栄区・主任児童委員・区社協・拠点4者協働 ③地域の子育て支援関係者・関係機関・団体との一層の連携充実・「子育て支援団体連絡会」開催(障害理解の啓発講座・交流会等 年間5回) ※区社協・拠点事務局運営・地域ケアプラザの親子向けイベント協力・出張子育てひろばの立ち上げ支援等 ④祖父母向けの講座の開催※横浜市・栄区・区社協・拠点4者協働 ⑤保育園との連携強化(共催:合同育児講座「ムーブメントで遊ぼう」場所提供) ⑥大学との共催事業の実施(食育講座・オープン公開講座への場所提供)
取組の成果	地域の子育て支援関係者及び関係機関、団体等と具体的な事業を通じて更につながりが深まった。 見える化マップの作成により団体同士の横の繋がりができ始めた。
取組の課題	日常的な交流・つながりを更に深める具体的な取り組みに向けての検討が求められる。

2 次年度重点目標

平成27年度 重点目標①	多様な養育者や地域のボランティアが集う取り組みを実施し、地域で一緒に子育てを支える居場所づくりを行います。
取組内容	【養育者向け】プレママ・プレパパ講座 ・パパたち集まれ・養育者向けの子育てに関わる講習や講座 等 【ボランティア向け】地域ボランティア受け入れ ・青少年地域活動拠点との連携 等
平成27年度 重点目標②	地域の子育て支援関係機関・団体と日常的な交流を更に深め、利用者を地域へつなぐ役割を行います。
取組内容	得!!わくわく子育て講座の実施(区・地域ケアプラザ・拠点三者協働) 保育園との連携合同保育講座等 サロン・ひろばへの出張支援・子育て支援者との連携 等
平成27年度 重点目標③	地域の中で子育てサポートシステムが円滑に活用されるよう取り組みます。
取組内容	地域への周知活動や提供会員数拡大の取組等

青少年の地域活動拠点 フレンズ☆SAKAE

1. 事業内容

事業所名称：栄区青少年の地域活動拠点 フレンズ☆SAKAE

所在地：横浜市栄区桂町711番地 さかえ次世代交流ステーション2階
TEL&FAX 045-898-1400

開所日：火・水・金 14時30分～19時30分
(冬期時間14時～19時)

土 10時～18時

※いずれも祝日を除く

青少年の地域活動拠点づくり事業（横浜市こども青少年局 補助金事業）

青少年が安心して集い、自由にくつろげる場所として、さかえ次世代交流ステーション2階に、主に中・高校生世代を対象とした居場所を設置、青少年の誰もが安心して利用できるようマナーやルールを伝え、学習支援や体験プログラムの他、日々の“ちょこっとボランティア”（花壇の水やり、表示物の作成、中・高校生による小学生への声掛けや工作・ゲーム・手芸・音楽等のレクチャー）などを利用者に働きかけ活動につなげた。

① 少年の居場所事業

火・水・金 14：30～19：30（冬期期間1月～3月は14：00～19：00）

土 10：00～18：00 に開所、青少年が安心して過ごし、仲間や異世代と交流する場を提供した。個々の特性を受け入れ、さらなる成長を促進するよう関わりを持ち、同世代の中で円滑に過ごすことのできるようサポートした。

家庭環境に課題のある利用者には、丁寧に寄り添い、学習面、生活面ともに配慮を持ってサポートした。

利用者 5,346 名（青少年 5,139 名、大人 207 名）

② 少年の学習応援事業

勉強が苦手、あるいは勉強することから逃避しがちな利用者を中心に、学習応援を行った。積み重ねの重要性を伝え、スモールステップを大切に、できそうな問題から学習を始め、自信を持って次につなげていくよう配慮した。

好きな科目、得意な科目を伸ばすことをきっかけに、勉強に興味を持ち、やる気が出てくるケースもあった。

参加者 421 名（小学生 103 名、中学生 315 名、高校生 1 名、その他学生 2 名）

③ 青少年の健全育成事業

青少年の健全な育成と成長の促進を目的に、学校や学年を越えて学び育ち合い、自己表現する機会と場を提供した。

内 容	参加人数	内 容
母の日のカード作り	9名	母の日に向けてカーネーションのカード作りを行った。
花壇整備	73名	ステーション玄関脇の花壇の水やりやお花の整備を行った。

ダンスワークショップ	42名	ダンスの基本（ステップ・振り付けなど）を学び、曲に合わせて踊る練習の他、挨拶など礼儀の指導も受けた。
陶芸体験	16名	土を切り出し、形にする工程を学んだ。
ステーションまつりボランティア体験	19名	さかえ次世代交流ステーションのおまつりで、各出店に中学生ボランティアを派遣した。
ティーンズクリエイション・2014	3名	区内中学生対象のデザイン展に協力、ワークショップに参加した。
書道体験	12名	栄区書道協会の協力により、書き初め体験を行った。完成した作品は栄区新年祝賀会にて展示された。

④地下スタジオ運営事業

フレンズ☆SAKAEおよびさかえ次世代交流ステーション利用者が、リトミック、歌、ダンス、楽器演奏等の活動を行う際のスタジオ運営管理を行った。
利用者 655名（青少年465名、大人190名）

2. 平成26年度利用者 6,001名

青少年計 5,604名

（未就学児235名、小学生2,846名、中学生2,482名、高校生28名、その他13名）

大人 397名

3. 主な活動内容

月	内容	協力等
4月	進級祝い	
5月	母の日のカード作り	
7月	ダンス☆ワークショップ	布のりこ氏
8月	ティーンズクリエイション・2014 ダンス☆ワークショップ 陶芸体験 竹の楽器作り	JAGD神奈川、つながるアート 他 布のりこ氏 後藤茂夫氏 ヒダノ修一氏
9月	ステーションまつり 湘南桂台自治会敬老会	ステーション内全事業所 湘南桂台自治会
11月	栄区民まつり 参加	
12月	にこりんくクリスマスコンサート	にこりんく
1月	書き初め大会	栄区書道協会
2月	ふらっと栄フェア	区民活動センターふらっと栄
3月	ぬくもり 参加 SAKAEヤングフェスティル	桂台地域ケアプラザ 青少年指導員連絡協議会

以上